

※一部非公開

令和5年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

## 小論文

農学部 亜熱帯地域農学科

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

### 非公開

このような近年における日本食（和食）ブームが、我が国の農林畜産業へ及ぼす影響と課題を整理した上で、今後の展望について、あなたの考えを900字以上1,200字以内で述べなさい。

#### 注

- 1) 並松信久（2020）「京都の食文化と無形文化遺産「和食」—京料理の歴史的経緯と日本型食生活との関連性—」『京都産業大学日本文化研究所紀要』25：9-45.
- 2) 下渡敏治（2015）「日本食（和食）のグローバル化と農産物輸出の展望と課題」『開発学研究』25（3）：1-11.
- 3) 農林水産省 食料産業局（2019）「海外における日本食レストランの数」  
<https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/service/attach/pdf/191213-1.pdf>  
（2022年8月27日参照）

## 令和5年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

# 小論文

### 農学部 亜熱帯地域農学科

#### 出題の意図

欧米だけでなく、近年、経済成長の著しいアジア諸国においても日本食（和食）ブームが起こっている。2013年に「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産への登録されたことにより、今後、海外での日本食（和食）の認知・評価は一層高まると考えられる。また、日本国内の人口減少や高齢化に伴い、今後、我が国の農林畜産業は国内農産物・食品市場の縮小に直面することが予想される。このような背景のなか、市場規模を拡大すべく、我が国で開発・育成された優良品種が、農林畜産物の輸出を支えることが期待されている。我が国の政府は「食料・農業・農村基本計画」（令和2年3月31日閣議決定）、「経済財政運営と改革の基本方針2020」・「成長戦略フォローアップ」（令和2年7月17日閣議決定）において、2030年の農林水産物・食品の輸出額目標を5兆円と設定した。

一方、昨今、日本で開発された優良品種が海外に流出し、無断栽培されていることが報告されており、日本の農作物と競合するなど大きな問題となっている。日本の食文化を支える農林水産物が高い評価を得ることにより、このような海外における「模倣品」の流通が顕在化している。

今後、地域の農林畜産業を担う人材として、こういった世界的な日本食（和食）ブーム